

富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第289号

目 次

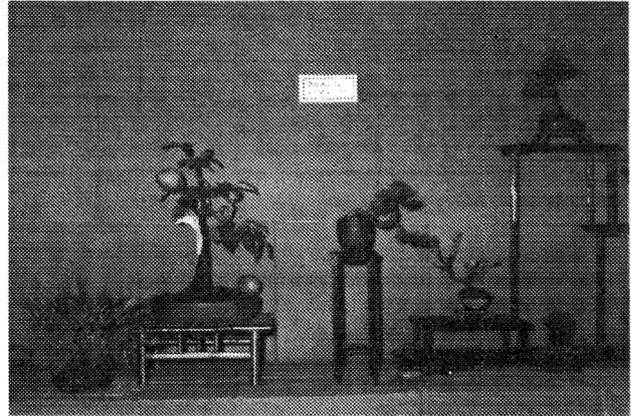
関係法令.....2	〈将棋大会〉.....4
諸会議.....2	〈卓球大会〉.....4
人事異動.....3	〈バドミントン大会〉.....5
学内諸報.....3	教育学部附属幼稚園創立100周年記念式典を 挙行.....5
文部省永年勤続者表彰について.....3	昭和62年度外国人留学生懇談会開催.....6
海外渡航者.....3	寄稿〈カナダNRC〉.....6
昭和62年度全国公務員レクリエーション共同 行事富山地区卓球大会.....3	〈海外教育事情視察に参加して〉.....8
学内レクリエーション.....4	職員消息.....10
〈昭和62年度教職員文化展〉.....4	主要行事.....10
〈麻雀大会〉.....4	

学内レクリエーション

〈昭和62年度教職員文化展〉

富山大学レクリエーション委員会、文部省共済組合富山大学支部共催で、昭和62年度教職員文化展が次のとおり開催されました。

開催日	11月4日(水)～11月6日(金)	
場 所	学生会館	
展示作品	華道班	20点
	手芸班	35点
	書道班	7点
	絵画班	16点
	写真班	26点
	盆景班	2点



(職員係)

〈麻雀大会〉

本学レクリエーション委員会娯楽部会麻雀班主催による昭和62年度麻雀大会が、去る11月19日(木)富山大学職員会館で実施されました。

なお、成績等は次のとおりです。

参加人員	13チーム 52名
試合方法	東北半荘4回戦(半荘45分打切)
入賞者	
団体戦	
優勝	施設課(富田, 福山, 村中, 吉野)

準優勝	教養部(田中昇, 泉, 堀口, 大西)
3位	庶務部B(岡田, 松井, 草島, 中島)
個人戦	
優勝	森 慶二(学生課)
準優勝	泉 三郎(教養部)
3位	松井博文(庶務部)
名人賞	岩城廣光(人文学部・理学部)

(職員係)

〈将棋大会〉

本学レクリエーション委員会娯楽部会将棋班主催による昭和62年度将棋大会が、去る11月28日(土)富山大学職員会館で実施されました。

なお、成績等は次のとおりです。

優勝	酒井 充(工学部)
次勝	畠山 豊正(工学部)
3位	松原 勇(理学部)

(職員係)

〈卓球大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会卓球班主催による昭和62年度卓球大会が、去る11月21日(土)富山大学第2体育館で実施されました。

なお、成績等は次のとおりです。

1. 団体の部	
優勝	教育学部チーム
2位	本部チーム
3位	教養部チーム

2. 個人の部

(1) 男子

- 優勝 森田 義則 (工学部)
 2位 武本 光雄 (人文学部・理学部)
 3位 西垣 登 (本部)

(2) 女子

- 優勝 石黒 世志子 (附属図書館)
 2位 長谷川 美香 (教養部)
 3位 中波 憲子 (工学部)

(職員係)

〈バドミントン大会〉

本学レクリエーション委員会体育部会バドミントン班主催による昭和62年度学内バドミントン大会が、去る11月28日(土)約75名の参加者を得て富山大学第3体育館で実施されました。

なお、成績は次のとおりです。

- 優勝 本部チーム
 次勝 工学部チーム
 3位 教育学部チーム
 教養部チーム

(職員係)

教育学部附属幼稚園創立100周年記念式典を挙行

教育学部附属幼稚園は、去る11月6日(金)午前10時から附属学校共用棟多目的ホールで創立100周年記念式典を挙行了した。

式典には、富山大学関係者、富山県教育委員会関係者、元附属幼稚園職員、同窓会及び父兄等約200名が出席し、中谷園長の式辞、大井学長及び野村教育学部長の挨拶があり、来賓の祝辞に続いて永年勤続者の表彰、元職員等への感謝状の贈呈があり、その後、附属

幼稚園グリーンコーラス部による100周年記念の歌の披露や園児のよろこびの歌の合唱があって、厳粛の中にも和やかさがただよい終了した。

記念式終了後富山第一ホテルで祝賀会が開催され、前記コーラス部による合唱で始まり、スピーチや歓談が繰り広げられ、和やかな雰囲気盛會裡に終了した。

(教育学部)

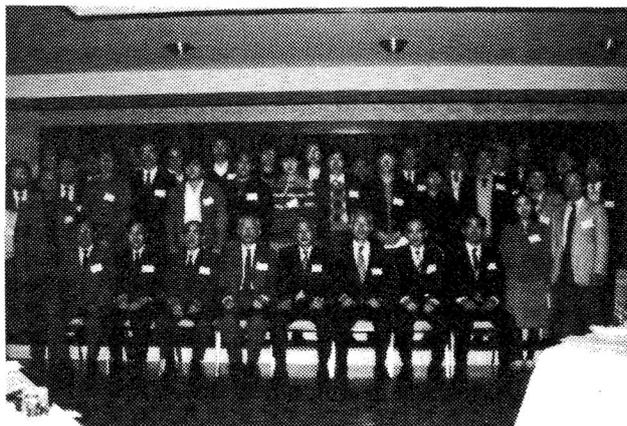


昭和62年度外国人留学生懇談会開催

11月20日(金)富山県職員会館において、本学に在学する外国人留学生・外国人研究員と大学関係者などが懇親を深め、併せて留学生間の交流を図ることを目的として、学長主催による懇談会が開催されました。この会には外国人留学生13名、外国人研究員2名、学部派遣留学生(帰国者)1名に、大学側から学長、学生部長、各学部長、国際交流委員会留学生部会委員、指導教官及び事務局ほか本部役職員が出席し盛大に行われました。大井学長から健康に留意し初期の目的を達成されるよう激励の言葉があり、学生課長によって出席者が紹介され懇談に移りました。中国、韓国、マレーシア、ボリビアの4か国が一堂に会し国際色豊かな中、終始和やかな雰囲気のもとにそれぞれ日本における生活体験を主に活発な意見交換があり、予定の2時間が

短かく感じられる程でした。最後に学生部長から閉会の挨拶があり名残りを惜しみながら散会しました。

(教務係)



寄 稿

カナダNRC

理学部助教授 田 口 茂

望みが叫んでオタワにあるカナダ国立研究所(NRC)で共同研究をする機会を得た。時期もよく、涼しい夏を過ごすことができた。

NRC分析化学部門のスタッフのうち、何人かの名前には馴染みがあったが、会うのは初めてであった。ボスのBerman博士の両腕で優れた仕事をしているSturgeon, McLaren両博士が30才代の若い研究者であることを知り、驚いた。研究スタッフが6人、テクニカルスタッフ7人、国内・外からの共同研究者3人、サマースチューデント1人、秘書1人が私が訪れたときの全メンバーであった。NRC分析化学部門は国内はもとより国際的にも、超微量成分分析の研究に関して指導的な役割を果たしている。スタッフの充実もさることながら、設備や装置も一流である。超微量成分を分析するに当って一番問題となるのは、まわりの環境からの試料の汚染である。このために清浄な実験室、クリーンラボ、は欠かせない。NRCのクリーンラボは二段構えになっており、測定室である前室でクリーン度(1立方フィート当りの $0.5\mu\text{m}$ 以上の大きさの塵の数で表す)が 10^2 レベル、その奥の試料調製室で

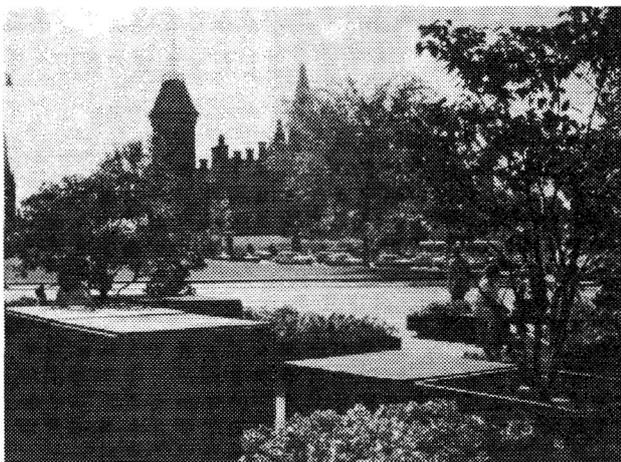
数10であり、その中に備えてあるクリーンベンチでは当然0に近い値である。外界では 10^5 レベルであるから、外からの汚染がほぼ完全に遮断されていることがわかる。他の研究所、大学の研究者によるこのクリーン設備の視察が私の滞在期間でも数グループあった。勿論室内に入ることはなく、ガラス越しの視察であった。幸い私は、滞在期間中この設備を自由に使用させていただいた。

富山大学の研究室では汚染のためにできない研究が沢山あることを思い、羨望の念を抱いた。測定装置についても同様である。世界で第1号の超微量成分用の質量分析計(ICP-MS)をはじめ、いくつかの最先端の測定機器が備えられていた。これらの設備、装置はすべてテクニカルスタッフ達によって管理されており、いつもベストコンディションで稼働するようになっていた。

私の研究については、2ヶ月の短い滞在期間に効率よく研究が進むように、スタッフと長期滞在中の岡山大学の中島博士がアレンジしてくれていたので非常にスムーズであった。

有害元素の一つであるヒ素は、汚染のない環境水中では $\mu\text{g/l}$ あるいはそれ以下の非常に薄い濃度である。しかも、ヒ素は無機のイオンとしてばかりでなく、有機態としても存在する。一般に、元素はその存在状態によって毒性その他の化学的挙動が著しく異なることが知られているので、全濃度のみならず状態別の分析法の開発が必要となっている。超微量成分を状態別に分析することは容易ではない。私のテーマは、さまざまの形で水中に存在するヒ素をそのままの形で、現在の測定法で測定可能な濃度にまで濃縮する方法を開発することであった。最終的に、同じプロジェクトの他の研究者が濃縮された試料を状態別に分析する予定であった。私は滞在中に目標にほぼ達することができたが、最終的な分析結果は、測定装置の故障が起きて滞在中には見届けることはできなかった。

夏はバケーションの季節である。バケーションと言えば旅行である。NRCのスタッフも交代でバケーションをとり、1～2週間程度の旅行を楽しんでいた。同じ場所に長期間とどまるのが彼らの大抵の旅行のようである。目的地を聞いて“面白い所か？”とたずねると“いや別に……リラックスするだけ”とあっさりした答えが返ってきた。日本人の1～2週間の旅行と言えば、国内どころか海外にまでおよぶ。旅行案内を片手にあちこち気ぜわしくめぐり歩き、遊ぶことさえリラックスできない私達とカナダの人達とは大違いである。カナダではホテル代は人数が増えても一人分とあまり変わらない。高速道路も無料なので安い料金で旅行を楽しむことができる。日本で、わが家の家族旅行と言えばもう一大決心である。一度出たらすみずみまで楽しもうと一生懸命になるのは仕方のないことか



コンフェデレーション広場の一角。季節の花で飾られ美しい。



国会議事堂前での衛兵の交代式、夏期観光シーズン中毎日行われる。衛兵のほとんどが学生アルバイトとか。

も知れない。

“オタワの夜は危険か？”とタクシーの運ちゃんに尋ねると、胸を張って“安全さ”という返事であった。たしかに、オタワの街は短い夏を楽しむ、家族連れ、カップル、旅行者で夜遅くまで賑わっていた。街中を流れるリドー運河の岸辺は野外演奏の会場であり、大道商人の店が並ぶところでもある。どっしりした中世ヨーロッパ風のホテルや国会議事堂もあるこの界隈を散策するのが私の楽しみのひとつであった。高いオフィスビルや閉店後の商店の明りがいつまでも点っていて、エネルギー大国の片鱗をうかがうことができた。かつて、アメリカ、アリゾナ州のツーソンに滞在したとき、田舎町にもかかわらず夜の街を歩くことはほとんどなかった。“危険である”と言うのが友人達からの忠告であった。オタワでの日が経つにつれて、覚醒剤常用の若者達や、通行人に小銭を請う乞食や、屑籠を漁る老人が目につくことになった。将来、このような人達が増えて、やがて“危険”な街になるのでは……と心配になった。

自然も、街も、人々もゆったりしているカナダを私はすっかり気に入った。もう一度訪ねてみたい。そのときまで、余り変って欲しくない気持である。

▶ 筆者は、文部省短期在外研究員として、昭和62年

7月10日から昭和62年9月9日まで2ヵ月間「水中微量成分の定量に関する研究」のためカナダ国立研究所へ出張され、このほど帰国されましたので、特に寄稿を依頼したものです。

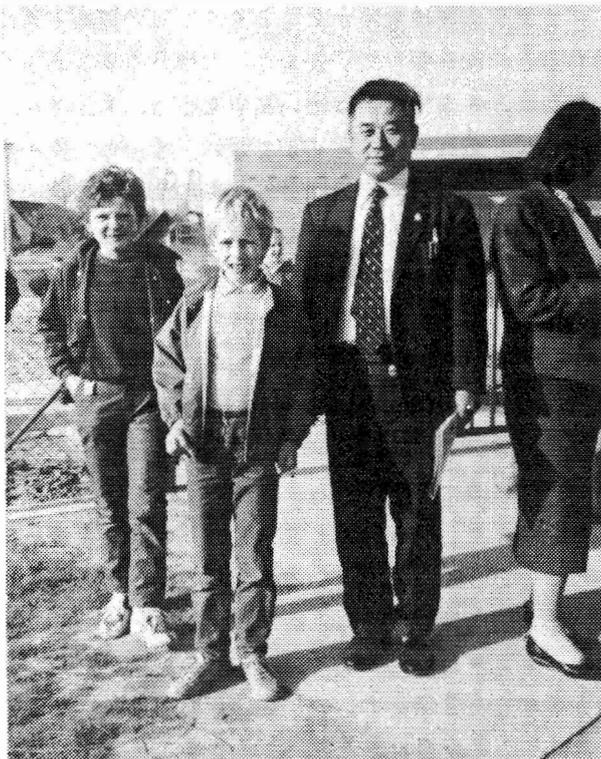
海外教育事情視察に参加して

富山大学教育学部附属養護学校 佐藤 日出信

このたび文部省海外教育事情視察団の一員として24日間の海外研修旅行に参加し、去る11月14日全日程を無事終えて帰ってきました。訪問国は主視察国東ドイツ・スイス・アメリカ合衆国（メリーランド州、カリフォルニア州。）従視察国はイギリス・西ドイツ、フランスの6ヶ国で、各国都市に1～4泊の短い滞在でした。学校訪問国は、東ドイツ（ライプチヒ）スイス（ブルクドルフ市）アメリカ合衆国（ボルチモア）でした。学校訪問は、養護学校、特殊学校、普通学校と平均して見る事が出来ました。訪問校は各国各地方で力を入れている模範的な学校だったと思います。

ロンドン（イギリス）2泊。ウェストミンスター寺院、ロンドン塔、ロンドン橋、学園都市オックスフォード、シェークスピアの生地、英国大博物館を見学しました。

カールマルクス学校の児童

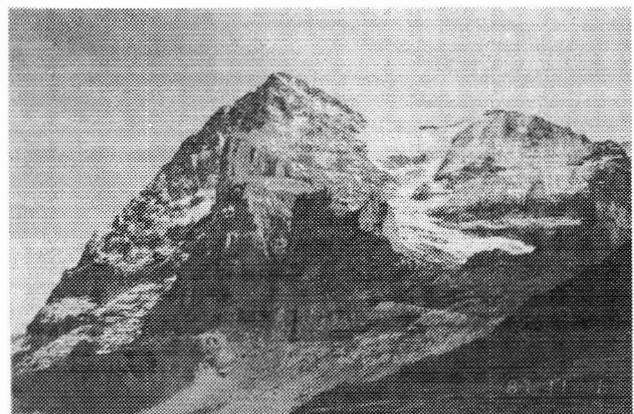


イギリスの人たちの願望、大英国の永年に渡る執念とでも言おうか、その栄光と繁栄の裏に見えた気がしました。

ライプチヒ（東ドイツ）。第2訪問国の東ドイツあたりでようやく教育事情視察の旅にもやっと慣れてきました。東ドイツの入国検問所では、入国審査と同時にバスの荷物検査など緊張した時間が続き、ベルリンの壁の厚さを痛感しました。何から何まで監視されて不安な世界と、自由を認められた清潔な世界が、こんなにも違うものかと思い知りました。ライプチヒに4泊。工業都市カールマルクスシュタット、学術都市ドレスデンを見学。美しい自然と歴史や芸術の重厚さに嘆息の連続でした。最初の学校訪問、カールマルクス学校（11～12年生）心暖まる気さくな接待で和やかな中で話し合いが出来ました。子供達と先生の姿を見てみると、生き生きとした総合技術学校の活動から感じとるものが多かったようです。東ドイツの教育システムの基本的な姿勢が大卒ながら把握できました。

フランクフルト（西ドイツ）2泊。ハイデルベルク、フランクフルト市（ゲーテハウス他）ネッカ川の向いの小高い丘の南側斜面に住宅が点在しています。遊覧船や貨物船も見ることが出来ました。古城の周辺の景

ユングフラウ・メンヒ・アイガーの峰



観はこの街を一望でき素晴らしい景色でした。

ベルン（スイス）3泊。24日間の研修日の中で誰もが晴天を願っていたのはこの日です。11月1日登山電車の中からスイスアルプスの首峰、ユングフラウ・メンヒ、アイガーの峰が見えた時は歓声が挙がりました。北面の眺めは白い雪を頂いた高山がさながら島々のように広がり絵葉書きの写真のようでした。どこを見ても素晴らしく美しく退屈せず景色を眺めつづけました。

ブルクドフ市、ペスタロッツ小学校参観（高学年5年生～9年生）屋内体育館（室内プールと施設を見学）ペスタロッツが直接に教勉をとった教室の見学、シュロスマット小学校訪問、身体障害者の教育センター訪問、ペスタロッツの教育、触る→考える→作るの教育原理を生かした教育、労働、手作業の指導がなされていました。

パリ（フランス）3泊。歴史と芸術の都ボンジュール、パリ、コンコルド広場、ルーブル美術館、ノートルダム寺院、ベルサイユ宮殿、エッフェル塔、芸術家たちの筆を走らせるモンマルトの丘を見学しました。急に若返ったような気分になりました。パリは古く良き時代の造物がこの街に限りなく多く、そして豊かな愛情をパリに築きあげています。

ボルチモア（アメリカ合衆国）4泊。市教育委員会の施設を見学、コンピューターを導入、生徒の能力、適性、興味など伸ばす学校の学習、生徒一人一人の成績をコンピューターに入れて個人差に応じた個別指導

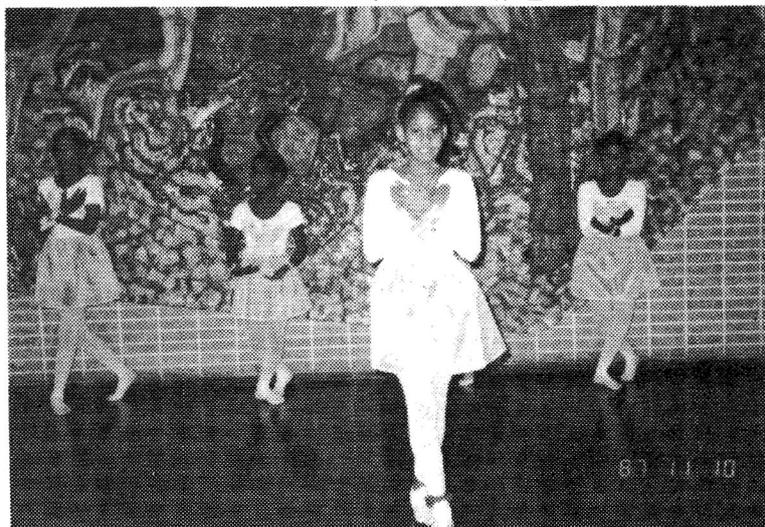
が盛んになっています。9校もの訪問校を得ることが出来、班毎に視察、心ゆくまで説明を聞き、子供たちとの交流を深めました。シティープリング小学校では、子どもの代表の挨拶「こんにちは」「ようこそ」には大いに感激し、校長先生の誠実味のある説明、校舎内は私たちの歓迎で美しく飾られていました。

11月10日、日本を離れて初の雨。昨日の暖かさは姿を消し、一転して晩秋の肌寒い日となりました。11月11日、初雪積雪20センチのため飛行機が離陸できず、ワシントンに泊ることになりました。

サンフランシスコ、1泊。ダレス国際空港を後に快適なアメリカ合衆国横断、サンフランシスコ離着。金門橋、チャイナタウン、サンフランシスコの夜景の見学。日本人旅行者が多いことに驚くと共に、何か考えさせられるものがありました。本当によい旅をさせていただきました。たくさんの人々と心温かなふれあいを得ることが出来ました。心からお礼と感謝を申し上げます。

▶ 筆者は、昭和62年度国立大学・学部附属学校等教官海外教育事情視察派遣者として、昭和62年10月22日から昭和62年11月4日までの24日間主視察国として東ドイツ、スイス、アメリカ合衆国（メリーランド州）へ外国出張されましたので、特に寄稿を依頼したものです。

シティープリング小学校児童の歓迎のダンス



国大協第48回事務連絡会議

(於：学士会館)

国有財産事務担当者連絡会議

16～21日 推薦入学、帰国子女及び社会人特別選抜願
書受付

17日 構内交通対策委員会

第7回入学者選抜委員会及び第9回入学試
験管理委員会の合同委員会17～18日 北陸地区大学課外活動担当者研修会
(於：称名荘)

18日 国際交流委員会学術交流部会

19日 学内麻雀大会

20日 第4回大学院委員会

第9回評議会

外国人留学生工場見学会

外国人留学生懇談会

21日 学内卓球大会

24日 第28回文部省共済組合北陸地区事務打合せ
学生部懇話会(於：星稜女子短大)

第4回学寮補導委員会

25日 昭和62年度日本育英会奨学金返還説明会

26日 部課長会議

第7回事務協議会

27日 R連盟卓球大会(於：県総合体育センター)

28日 学内バドミントン大会

人 文 学 部

11月4日 新校舎設計に関する打合せ会

5日 係長連絡会

11日 施設委員会

教授会

人事教授会

12日 文部省会計実地監査

16～21日 帰国子女及び社会人特別選抜の願書受付

19日 紀要委員会

25日 教授会

人事教授会

人文科学研究科委員会

27日 事務連絡会

教 育 学 部

11月4日 教務委員会

附属養護学校体験入学

6日 情報教育課程設置準備委員会

附属幼稚園創立100周年記念式典

9日 入学者選抜方法検討委員会

11日 文部省会計実地監査

教授会

11～17日 附属養護学校、附属幼稚園入学(園)願書受付

13日 日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議
会(於：東京都)

内科検診

18日 人事教授会

18～20日 全国国立大学附属学校連盟副校舎長会研究
会及び全国国立大学附属学校管理運営等協
議会(於：大阪市)

24日 附属小学校創校110周年記念式典

26日 教育実習運営協議会

27日 職業補導委員会

経 済 学 部

11月4日 改組経過報告書作成委員会

6日 定期健康診断(内科診察、尿検査、血圧測定)

9日 将来構想検討委員会

11日 文部省会計実地監査

人事教授会

教授会

16～21日 経済学部推薦入学、帰国子女及び社会人特
別選抜願書受付

19日 入学方法検討委員会

21～23日 第34回日本学生経済ゼミナール富山大学大
会

24日 施設整備委員会

25日 教務委員会

人事教授会

教授会

27日 昭和62年度秋季国立11大学経済・経営学部
長及び事務長会議(於：富丘会館)

30日 財務委員会

理 学 部

- 11月5日 係長連絡会
 11日 教授会
 理学研究科委員会
 人事教授会
 12日 文部省会計実地監査
 16～21日 帰国子女及び社会人特別選抜の願書受付
 18日 学科主任会議
 27日 事務連絡会

工 学 部

- 11月4日 温交会役員会
 9日 事故調査委員会
 11日 文部省会計実地監査
 13日 工学研究科委員会
 教授会
 16日 事故調査委員会
 19日 選考委員会
 25日 改革検討委員会
 事故調査委員会

教 養 部

- 11月6日 紀要委員会
 11日 教授会
 12日 文部省会計実地監査
 18日 施設整備委員会
 視聴覚教育委員会
 補導委員会
 25日 推薦委員会
 予算委員会

附 属 図 書 館

- 11月
 5～6日 昭和62年度北信越地区国立大学図書館研修会（於：信州大学附属図書館）
 11日 文部省会計実地監査
 16日 係長事務打合せ会
 16～21日 昭和62年度漢籍担当職員講習会（中級）
 （於：京都大学人文科学研究所）
 17日 防火訓練
 富士通SEとの打合せ会（図書受入）
 18～19日 昭和62年度北信越地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議（於：新潟大学附属図書館）
 19日 ワーキンググループと富士通SEとの打合せ会
 24日 係長事務打合せ会
 25日 北陸地区国立大学図書館会計担当者会議
 （於：富山大学附属図書館）
 27日 第3回商議会

トリチウム科学センター

- 11月
 11～12日 文部省会計実地監査
 20日 機種選定委員会
 25日 将来計画ワーキンググループ会議

保健管理センター

- 11月13日 臨時健康診断（在来生合宿研修スキー講習会参加者）
 健康診断（教育学部職員，男女）
 18日 臨時健康診断（在来生合宿研修スキー講習会参加者）
 25日 臨時健康診断（在来生合宿研修スキー講習会参加者）

経営短期大学部

11月12日 主事候補者選挙

教授会

13日 授業料等減免選考委員会

19日 閉学式準備委員会

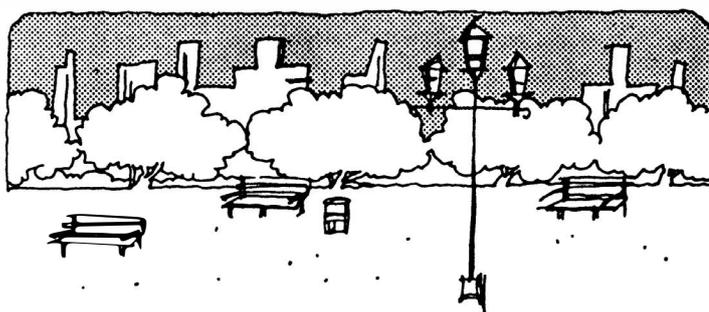
27日 昭和62年度国立短期大学協会第2部会

(於：東京都)

◇訂 正 (おわび)

学報昭和62年11月1日発行第288号

ページ	訂正箇所	誤	正
1	目 次	地 域 共 同 センター起工式	地域共同研究 センター起工式
13	職員消息 新任者住所 教養部	下 山 茂	下 川 茂
15	主要行事 理 学 部 10月7日	特品定期検査	物品定期検査



◎ 退庁、退室の際には、戸締りの徹底・電気、ガスの消し忘れ、タバコの吸殻の後始末に十分注意し、盗難の防止・火災の予防に心がけましょう!!

◎ 電気、ガス、水の省エネ・省資源に協力しましょう!!

◎ 積雪・凍結時の自動車等の運転は、極力取り止めます!!

◎ 積雪時は、構内除雪の障害とならないよう駐車に注意しましょう!!

◎ 構内での自動車等の運転は、教育・研究に支障を来さないよう安全運転に努め定められた交通方法、歩行者の安全及び騒音防止に努めましょう!!

編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 あけぼの企画株式会社
富山市住吉町1丁目5-18
電話 (24) 1755(代)